

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山本町見世蔵プロジェクト事業			会計	款	項目	大	小
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	流山本町・利根運河ツーリズム推進課			
施策	5-5	特色ある観光の育成と創設		主管課長	恩田 一成			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民、観光客	意図	歴史的建造物の活用したギャラリーや市民交流の場を創設し、交流人口の増加及び地域の活性化を図る。
事業内容	流山本町地域の交流人口の増加のために、旧流山本町の歴史的建造物を賃借し、万華鏡ギャラリーとして活用し、万華鏡の展示販売、物産品販売及び各種イベントを実施している。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度の事業開始後、各種イベントなどを積極的に展開するとともに、テレビ・ラジオなどのマスコミに取り上げられるなど、広報宣伝活動も積極的に行った結果、来館者数を順調に伸ばしている。また、観光拠点として地域の活性化に寄与している。当初は、「ふるさと雇用再生特別基金」を活用し、失業者3名を雇用していたが、平成24年度より市の事業として業務委託している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	見世蔵来館者数	11,421	15,476	14,795	人
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						現在、展示販売委託契約を締結している万華鏡作家が世界最大の万華鏡コンベンションで最優秀作品賞を受賞し、来館者の増加に大きく寄与している。また、来訪客を増やすために独自のイベントや催しを展開している。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度	また、自主財源確保として販売業務に力を入れており、高額な万華鏡の売上額が伸びている。		
事務事業の総コスト(a=b+c)		5,069,870	5,212,100	5,218,300			
事業費(b)(円)		5,000,000	5,143,000	5,143,000			
うち一般財源		5,000,000	5,143,000	5,143,000			
職員給与費(c)(円)		69,870	69,100	75,300			
人役・職員(人)		0.01	0.01	0.01			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	C 民間企業やNPOが担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	・各種イベントの実施により見世蔵をPRする。
②今年度(H27)に実施した取組	・受託者によるさまざまなイベントの実施。

③取組の課題	・交流人口の増加に向けた新しいイベントや展示の検討。
④今後の改善計画	・受託法人と新たなイベントや展示について協議を行う。